平井直之委員の総括質疑

○渡部秀樹委員長 次に、順位6番、議席番号1番、平井直之委員。

○1番 平井直之委員 お疲れさまです。21爽風会の平井直之です。通告してあります3項目について質問させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

1点目ですが、2款総務費、1項総務管理費、6目企画費、110ふるさと交流定住事業について伺います。

事業概要では、人口減少に伴い生産年齢人口も減少しており、地域の農業や建設業・製造業などの担い手確保が課題となっている。一方で、本地域で広く事業展開する自動車教習所マツキドライビングスクールには、首都圏からの学生を中心に、年間約6,000人の教習生が来訪している。本事業では、教習生とのつながりを深めるべく官民連携して取組を実施するとあり、実施内容では、教習生に本市の魅力や仕事を知ってもらい、関係人口としての関わりやその先の選択肢としてもらうため、2つの内容について実施するとあります。

その1つに、企業見学や農業体験、観光スポットの周遊等の体験型プログラムを実施し、魅力を感じてもらい機会を創出するとありますが、具体的にどのような取組をするのか、地域づくり推進課長に伺います。

○渡部秀樹委員長 新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 自動車教習所マツキドライビングスクールにおきましては、山形県を中心に11校で事業展開しておりまして、全体で年間3万人の方が来訪しております。さっき委員からありましたとおり、この地域、長井市と白鷹町2校におきまして、首都圏からの学生中心に年間6,000人の教習生がこの地域を訪れております。

以前からマツキドライビングスクールのほうからは、教習生を対象とした関係人口構築事業を提案していただいております。今回、第2世代の交付金を活用いたしまして、長井市単独だけでなく白鷹町、飯豊町と連携してこの事業を実施することとしたものでございます。

取組の背景といたしましては、本地域の人口減少に伴いまして、さっき委員からありましたとおり生産年齢人口も減少しており、地域農業や建設業、製造業の担い手の確保が本市の産業の喫緊の課題となっております。そういった中、地域の企業等は、合宿免許等でこの地域に来訪している学生との接触の機会がないということもございまして、学生のアプローチができずにいたところでございます。

今回の事業につきましては、地域内企業や農業団体等からの協力を得まして、教習生向けに企業見学や農業体験あるいは観光スポットの周遊などの体験型プログラムを実施いたしまして、そこから地域住民との交流などを通して本市での生活や地域企業について知る機会を創出し、移住先の1つとしての選択肢としてなることを促していきたいと考えております。

○渡部秀樹委員長 1番、平井直之委員。

○1番 平井直之委員 ありがとうございます。

教習生は四季それぞれのタイミングで来られると思いますが、四季それぞれの長井市のよさを知っていただければなと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

続きまして、2点目ですけれども、合宿免許卒業後に本市を離れた学生等を対象に、来訪のきっかけとなるような催事を首都圏で開催し、さらなる関係人口を創出するとあります。

教習所に来られる方は、首都圏からだけではないと考えますが、首都圏以外の方にはどのようなことを考えておられるか、地域づくり推進課長にお伺ひいたします。

○渡部秀樹委員長 新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 この事業に取り組む背景といたしまして、マツキドライビングスクールの教習生の中には、卒業後、休みを利用いたしまして長井市を再訪している学生が一定数存在しているとお聞きしておりますし、本地域のファンとなり、リピーターとして何度も訪れている方もいると自動車学校のほうからお聞きしているところでございます。

一方で、合宿免許卒業後に本地域との関わりが途切れてしまう方が大変多いために、関係人口や移住までの中間ステップといたしまして、首都圏等へ戻った学生をターゲットにした再来訪のきっかけとなるようなイベントを首都圏のほうで開催する事業と今回の事業はなります。

教習生向けにフォローするネットワークが自動車学校のほうで卒業後も専用のアプリを通じて継続されておりますので、今回の事業につきましてはそのネットワークを活用させていただいて、イベント等の情報を発信しながら実施するものでございます。

イベントについては、先ほどの事業と同じように、飯豊町や白鷹町とも連携いたしまして、地域の農産物や特産品、観光スポットや伝統文化等を紹介するほか、地域企業、農業団体等もイベントに参加いたしまして、首都圏に戻った教習生と交流することで、関係人口として関係を深めていく考えでございます。

教習生は首都圏の学生が多数を占めているということでございますけれども、人口規模、交通等の集まりやすさを考慮いたしまして、イベントにつきましては首都圏を主的に開催する計画でございます。

なお、首都圏以外にもマツキドライビングスクールを利用される方いらっしゃいますので、その自動車学校のネットワークを活用させていただきまして、幅広い地域の方を対象に継続的な情報発信を実施しながら、首都圏のイベントにも参加していただいたり、長井市へ再度の

来訪を促し、そういったPRを今後進めていきたいと思っております。

○渡部秀樹委員長 1番、平井直之委員。

○1番 平井直之委員 1つ目の質問、2つ目の質問関連するんですけども、この事業について、運営についてなんですけども、この辺の運営の仕方といいますか、これは業者のほうに委託とか、その辺のところは何か考えていらっしゃるでしょうか。

○渡部秀樹委員長 新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 これから具体的な資料を作成して、公募して、業者を選定しながら、この地域の事業、あと首都圏の事業につきましては、それぞれ業者を選定して実施していきたいと考えております。

○渡部秀樹委員長 1番、平井直之委員。

○1番 平井直之委員 具体的にはこれからということでお伺いしました。

これから関係人口だったり、あるいは移住・定住、また雇用の拡大にも大変つながるような大変にいい事業だと思いますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

続きまして、2点目になります。10款教育費、2項小学校費、1目学校管理費、003学校施設管理事業について伺います。

学校施設管理事業にカーペット室清掃業務委託料が新規で計上されていますが、このカーペット室とはどこの小学校にあるのか。また、どのような用途に使われるのか学校教育課長に伺います。

○渡部秀樹委員長 竹田 洋学校教育課長。

○竹田 洋学校教育課長 カーペット室清掃業務委託については、当該校は豊田小学校でございます。また、該当となっている部屋は、2階の図書室となっております。

○渡部秀樹委員長 1番、平井直之委員。

○1番 平井直之委員 このカーペット室なんですけども、清掃業務を委託しなければならない

ような特殊な仕様の部屋もしくはカーペットになっているのか、学校教育課長にお伺いいたします。

○渡部秀樹委員長 竹田 洋学校教育課長。

○竹田 洋学校教育課長 この図書室ですけれども、カーペット敷きになっていますが、一般的なタイルカーペットであり、特殊な仕様の部屋ではございません。

本事業については、学校薬剤師により毎年実施しております学校環境衛生検査において、ダニアレルギーが含まれる可能性が高いので、対応が望まれるとの結果報告を受けて、専門業者によるクリーニングを行うものです。

なお、学校薬剤師のほうからは、掃除機による小まめな清掃を行っていただきたいというご指導をいただいております。既に日常的に対応しているのですが、一度しっかりとしたクリーニングを行って、よりよい学習環境を確保していくために予算計上をさせていただいたものです。

○渡部秀樹委員長 1番、平井直之委員。

○1番 平井直之委員 今お伺いしました、この清掃頻度というものを今、1度とおっしゃいましたけども、年に1回の清掃になるのか、お願いします。

○渡部秀樹委員長 竹田 洋学校教育課長。

○竹田 洋学校教育課長 清掃についてお答えいたします。

ふだん子供たち、あと担任の先生、養護教諭などを中心に、日々清掃を行っております。週に少なくとも3回は清掃を各休み時間であったりとか掃除の時間を取って掃除を行っております。

今回この学校薬剤師のほうからは、年に1回の学校の環境衛生検査の点検において、可能性があるので小まめな掃除をしていただきたいというご指導を受けたことで、今回業者を委託して、1回、クリーニング方法としては薬剤の散

布、ポリッシャーによる洗浄、その後、汚れの吸引、乾燥といった専門的な清掃を行っていただくことを令和7年度に予算計上させていただき、お認めいただいた後に実施をしたいという方法で進んでいるところでございます。

○渡部秀樹委員長 1番、平井直之委員。

○1番 平井直之委員 ありがとうございます。

豊田小学校のみということではあったんですが、ほかの小学校でそういうカーペット室というのは、必要性と申しますか、需要性と申しますか、そういうようなところはあるでしょうか、お伺いします。

○渡部秀樹委員長 竹田 洋学校教育課長。

○竹田 洋学校教育課長 長井市内には、タイルカーペットの部屋を持っている小学校が幾つかございます。例えば、長井小学校の視聴覚室、西根小学校のコンピューター室、伊佐沢小学校の図書室などにもタイルカーペット敷きの部屋を抱えているところがございます。もちろん、それぞれの小学校で学校指定の薬剤師の方に毎年点検をいただいております。

今回、豊田小学校のほうで、このダニアレルギー等の検査の中で学校薬剤師の方から丁寧な清掃をしていただきたいという報告書を頂いたということを受けての清掃ということになっております。

○渡部秀樹委員長 1番、平井直之委員。

○1番 平井直之委員 ありがとうございます。

それでは、ほかの小学校ではそういった問題は起きてないということで確認させていただきました。

続いて、3点目になります。10款教育費、5項保健体育費、1目保健体育総務費、005長井マラソン大会運営事業について伺います。

これまで長年長井マラソンの事業として計上されてまいりました。県・市内外で大変多くの方が参加され、喜んでいらっしゃる大会かと思っております。

また、梅津委員のご質問と重なるところはあるんですが、ホストタウンの事業も関連しまして、海外交流等をする場の1つとしても大変貴重な大会ではあると思っていますが、令和6年まで計上されていましたが長井マラソン大会運営費が令和7年度では計上されていないということがありました。どうしてなのか、健康スポーツ課長にお伺いいたします。

○渡部秀樹委員長 鈴木幸浩健康スポーツ課長。

○鈴木幸浩健康スポーツ課長 お答えさせていただきます。

長井マラソン大会に関わる予算につきましては、国の新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用した、マラソンを核とした生涯活躍のまち推進事業の1つに位置づけており、この事業は、市民ひとり1スポーツの推進を、スポーツウエルネスの視点を踏まえ、総合的に取り組む予定としております。

交付金は、国から2分の1が補助され、その残り2分の1について、8割が特別交付税として措置されますので、実質9割補助で、市の負担は1割で活用できるものです。つきましては、この予算案を議会の最終日に提案させていただきたいと考えております。

○渡部秀樹委員長 1番、平井直之委員。

○1番 平井直之委員 交付金を使われるということではありますが、想定される予算額というのはどれぐらいになるのか、健康スポーツ課長にお伺いします。

○渡部秀樹委員長 鈴木幸浩健康スポーツ課長。

○鈴木幸浩健康スポーツ課長 繰り返しになりますが、長井マラソン大会は、マラソンを核とした生涯活躍のまち推進事業の核となる事業ということで、スポーツウエルネスの視点を踏まえ、事業をブラッシュアップしながら実施してまいります。

この事業は、全体で約1億2,000万円弱の予算で、その中の事業費ということで考えている

ところでございます。

○渡部秀樹委員長 1番、平井直之委員。

○1番 平井直之委員 大会の予算はこれからということですので、最終日に提案のほうを確認させていただきたいと思います。

私からは以上になります。

鈴木一則委員の総括質疑

○渡部秀樹委員長 次に、順位6番、議席番号6番、鈴木一則委員。

○6番 鈴木一則委員 総括質疑、最後になりました。政新長井の鈴木です、よろしくお祈いします。

初めの質問については、一般質問で時間がなくて、なかなか早口でご答弁いただいたので、聞き取れない部分がありましたので、再度質問項目として上げさせていただきます。よろしくお祈いいたします。

初めに、ふるさと応援基金、2款の総務費、1項6目企画費の003ふるさと納税事業についてお伺いをいたします。

さきの一般質問でも質問いたしましたけれども、再質問という形でお伺いしたいことは数点あったのですが、かないませんでしたので、ここでは政策推進参与にお伺いをしたいと思えます。

まず最初に、令和6年度採納状況は、規則の変更等の影響があったと考えるが、当初の見込みに大きく届かなかった。他の要因は何かについてです。

令和5年末の返礼品の基準の変更が一番大きいと思います。さきの一般質問での答弁でも、その他にも要因があったように思いましたので、ここでお伺いをします。

○渡部秀樹委員長 竹田利弘政策推進参与。